

Let's KYUTECH 留学

第5号

海外インターンシップ

今回は海外の日系企業でインターンシップ（就業体験）ができるプログラムを紹介します。実際に海外で働くことができるので、将来、海外での就職や海外駐在のある企業への就職を考えている人は必見です。また、海外における日系企業の取り組みを知ることで見分を広め、語学力+α（アルファ）の成長が期待できます。



カワダ タケキ

川田 岳輝さん



工学部
建設社会
工学科

3年

滞在先 ベトナム

期間

2024/8/26～
2024/9/6

インターン先

清水建設株式会社

総合建設業で、オフィス、工場、病院などの建築・土木工事を請け負い、設計から施工、運営・維持管理まで行います。さらに、環境に配慮した建築技術や耐震技術の開発にも力を入れています。

きっかけ・動機

もともと海外に興味があり将来的に海外で働くことも選択肢の一つとして考えており、現場を実際に見てみたいと分らないことが多いと思って参加しました。今回のインターンシップ先の清水建設は、自分の専攻が建設社会工学科であることと、将来の就職先としてゼネコン業界を考えていたことから選定しました。

インターンシップの内容

今回のインターンシップでは、橋梁の建設現場を見学しました。日本の現場と比べてとにかく規模が大きく、圧巻でした。また、今回は「斜張橋（しゃちょうきょう）※」を建設中で、インターンを通じてその構造に詳しくなることができました。

特に「コンクリートの打設（だせつ）※橋の構造物を作るために、液体状のコンクリートを型枠に流し込む作業」については、授業で体験した規模とは段違いの大きさで、一連の作業を実際に見ることができたことは、今回のインターンで一番印象に残る良い経験でした。

※斜めに張ったケーブルで支える橋



学び

問題が起こってグループでディスカッションしているときは、自分に関係なさそうでもとにかく参加し、“コミュニケーションを積極的にとる姿勢”が重要であることを実感しました。自分が社会人になった時には実践したいと思います。現地の社員の方が休みの日も業務に関する勉強をして、現場で活かせる知識を身につけていることを知り、大学で受けている授業については「知識を正確に身につける」という姿勢で臨み、将来就職した際に必要になる授業については卒業要件に関係なく積極的に履修したいと思うようになるなど、インターンを通じて、改めてこの業界で働きたいという意志が強くなりました。

ある1日のスケジュール



06:50 ホテル出発
07:50 日誌、レポート作成
08:30～9:30 講義
10:00 日誌、レポート作成
12:00 ランチタイム
13:00 ミーティング
13:30～15:00 講義
16:30～17:00 現場見学

メッセージ

海外勤務もありうる企業に就職を希望している場合、一度“行ったことがある”のと“ない”のとでは大きな違いがあります。今回インターンに参加して、五感で多くを感じ、多くの経験をしたことで、ベトナムでの生活様式にも慣れることができ、ゼネコン業界で働く人のロールモデル（人物像）についても実例を通じて深く知ることができました。プログラムは短期でかつ夏休み中だったこともあり参加しやすいので、少しでも興味があるのであれば、学生のうちに行っておくことを強くお勧めします！



海外インターンシップ

滞在先

マレーシア

期間

2024/8/26~2024/9/6



工学部 電気電子 工学科 4年
イトウ カズヤ
伊藤 和弥さん

インターン先

キャノンマシナリー株式会社

半導体製造装置や自動化、省力化装置の設計・製造・販売を行っています。特に、半導体製造装置の分野で強みを持ち、最新技術を駆使した高性能な装置を提供しています。

きっかけ・動機

元々海外で働くことに興味があり、九工大の留学プログラムやカナダのワーキングホリデーに参加していました。その経験からさらにモチベーションが向上し、海外で働くことをより身近に体験したく、海外インターンシップに参加しました。



インターンシップの内容

キャノンマシナリーでは半導体を作るためのマシーンを作っていました。自分の専門であるプログラミングを行う日があれば、設計部門での業務を体験する日もありました。これまで経験のなかったCAD設計にも2日間取り組みました。オーダーが入ってから製品が完成するまでの工程を幅広く経験することができました。



職場環境

始業が8時で少し早かったです。さらに毎週金曜日はお祈りの時間があり、マレーシア独特の文化を感じました。一方、時間をしっかり守るところや、残業する方もいるところなど日本と変わらないところもありました。

学び

日本人の社員の方と業務のことからプライベートのことまでざっくばらんにお話しできました。様々なライフイベントに対応しながら海外で働く方の生の声聞き、自分のキャリア形成の参考になりました。企業説明会では聞けなかったと思うのでいい経験になりました。



メッセージ

躊躇せずに挑戦してほしいです。1人で海外に行く不安や言語の違いなど、気になることは多いですが、現地には日本人の方もいるので少し頼りつつ、自分でも頑張ることができれば大丈夫です。練習を兼ね、まずは韓国など日本から近い国に行ってみることもおすすめです。



工学部 機械知能 工学科 3年
トモヒロ コウタ
友廣 優太さん

インターン先

山九マレーシア株式会社

総合物流サービスを提供し、プラントや工場の建設、機械設備のメンテナンスも行っています。陸・海・空の物流をカバーし、効率的な物流ソリューションを提供しています。

きっかけ・動機

海外で働くことに興味があったこと、学部1年生の時に大学のプログラムでマレーシアに行った時に「海外って楽しい」「また行ってみたい」と思っていたことから決意しました。また、1年生の時は団体行動のプログラムだったので、今回は一つステップアップして単独で参加するプログラムに挑戦してみました。

ある1日のスケジュール

- 07:30 ホテル出発
- 09:00 ミーティング (マレー語)
- 09:30~12:00 現場
- 12:00~13:00 ランチタイム
- 13:00~17:00 現場
- 17:00~18:00 夕食
- 19:30 ホテル到着

インターンシップの内容

私はプラントで、特に配管をやっている現場でインターンをしました。現場は、eco-oil (エコオイル) というバーム油から石油を精製するプラントです。配管工事の現場では、これから設置する配管がちゃんと現場の幅等にあっているか、設計図通りで大丈夫かを確認し、サイズが合わないようであれば設計図を書き直すといった研修をしました。特に、コンテナの事務所をクレーンで運んでくるところが興味深く、工場の高さ(狭さ)に合わせて、クレーン自体のサイズもコストを考慮しつつ選ばなければならない点が勉強になりました。

職場環境

職場の方々是人柄に表裏がなく、いつも皆明るくワイワイやっていた印象です。マレー人スタッフの方は観光スポットについて丁寧に教えてくれ、日本人スタッフの方とは気軽に大学生活や今後の就活について話げできました。

学び

インターンシップの最終日には、eco-oil (エコオイル) の現場についてパワーポイントで発表しました。約20人の社員の方々の前でいった英語のプレゼンテーションは緊張しました。社会人に対して行うプレゼンは雰囲気も大学で行うものとはまったく異なり良い機会となりました。海外で働くことについて、実際に働いている現地社員の方々と話す中でより現実的になりました。海外で働く機会のある会社に就職し、海外へ異動を命じられても「喜んで行ける」と思います。

メッセージ

とにかく行って、経験することが大事です。一人で参加する場合は不安に思うかもしれませんが、それが自己成長につながって結果多くの達成感を得られます。社員の方は丁寧に指導して下さるので、専門分野外でも積極的に学ぶ姿勢があれば、多くのことを吸収できます。



工学部 電気電子 工学科 3年
ナミエ カナメ
波江 要芽さん



工学部 電気電子 工学科 3年
マルハシ コウタ
丸橋 恒太さん

インターン先

株式会社九電工

電気工事、空調・衛生工事、情報通信などを手がけています。また、省エネ、創エネ、蓄エネ分野のさらなる事業領域の拡充や海外での再生可能エネルギー事業への参画など、カーボンニュートラルの実現に向けた新たな事業展開にも積極的に取り組んでいます。

きっかけ・動機

海外で働きたいというよりも、とにかく海外に行ってみようという気持ちが強く参加しました。またインターンシップ先も電気関連の企業であったため興味を持ちました。(波江)

インターンシップの内容

活動初日には安全教育の座学があり、二日目以降は工場や現場の視察が中心でした。まず視察の前に現場についての説明を受け、説明後現場に行きました。一週目は毎日違う事務所と現場に行って設備等について学び、二週目はクアラランプールの事務所まで太陽光発電について学びました。また、最終日に事務所の方に向け2週間で学んだことを発表しましたが、登壇者が前に立つスタイルではなく、全員で机を囲んで、登壇者も座ったまま発表を行いました。さらに発表中でも感想や質問が次々に投げかけられ、常にリアクションがある発表しやすい雰囲気でした。

職場環境

英語でコミュニケーションをとっていましたが、国際色豊かで、時にはマレー語など英語以外の言語も飛び交い、楽しそうに働く姿が印象的でした。(波江)

現地の方は気さくに話しかけてくださり、優しい方ばかりでした。日本のマンガやアニメが会話のきっかけになりました。(丸橋)

学び

このインターンシップは自分で航空券を手配しないといけないので、しっかり確認して航空券を手配したつもりが、帰りの便を間違えて1日遅い日程で取っていました。チェックインの時に気が付き、丸橋さんと別々で帰ることに...宿は取らずに、空港で1日を過ごし、無事日本に帰国できました。(波江)

日本でのコンセントは電圧が100Vで平行的な2本ピンですが、マレーシアでは電圧が240Vで、3つの四角いピンを持つGタイププラグが主流であることを知りました。現場や事務所でも様々な電気分野に関する知識を学ぶことができました。(丸橋)



情報工学部 情報通信 工学科 3年
カワグチ ミドリ
川口 碧さん

インターン先

東洋エンジニアリング株式会社

石油、ガス、化学、発電などの産業プラントの設計、調達、建設を一括して請け負うエンジニアリング会社です。プロジェクト管理や技術サポートも提供しています。

きっかけ・動機

海外で働くということに興味があり、体験してみたいという想いで参加しました。総合エンジニアリングという業界を学びたいと思ったことが東洋エンジニアリングを選んだ理由です。

インターンシップの内容

1週目と2週目のはじめまでは、9:00~17:00の間に各部門のマネージャーによる業務内容の説明を受けました。その後は建設された場所に実際に出向いたり、興味のある部門に配属された仕事内容の詳細を聞いたりしました。

職場環境

社内では、英語や中国語など様々な言語でのコミュニケーションが行われていました。社員の方々とはとても親切に接してくれて、ランチに誘ってくれるなどフランクに話しかけてくれました。マレーシア本社の日本人の方がガイドをしてくださいましたが、お部屋に炊飯器を用意してくれるなどとても丁寧な対応がすごかったです…!

学び

マレーシアは多文化を尊重している国だと改めて実感しました。現地の方がとても親切に接してくれたことで私自身も今後さらに他者の文化を理解・尊重し、円滑なコミュニケーションをとっていきたいと思いました。

メッセージ

このインターンシップに参加して、自分の成長を大きく感じることができました。地元インターン生がとても親切なので、英語に自信がない方でも楽しく過ごすことができますし、友達もできます。楽しいので迷っているのであればぜひ参加してほしいです!

メッセージ

英語を話すことに不安があってもパッションがあれば大丈夫です! 慣れない海外で過ごすことで精神的にもタフになります。(波江)

海外に行ったからこそできる経験がたくさんあります。文化の違いを感じることで自分の視野も広がりますよ!(丸橋)





東南アジア圏あるある



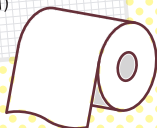
移動にはタクシーが便利です！アプリで配車予約から目的地の指定、クレジットカードから料金支払いが完了するので、ドライバーの方と会話をせずに目的地に到着できます。あと、食事は日本食が結構食べられるので安心です！（友廣）



ガソリンや高速代が安く、交通量が多いです。ホテルからインターン先までの送迎は車でしてもらいましたが、始業が早いこともあり、朝の出勤は20分で行けたところを、帰宅ラッシュ時は2時間かかり驚きました。（伊藤）



ベトナムのトイレ事情は日本とは異なり、配管が狭くトイレトーパーペーパーを流せないため、ゴミ箱に捨てる必要があります。ある時、コンビニのトイレに入ったから、ペーパーがなく（掛けるどころさえない）、絶望。。。代わりに、ウォシュレット（シャワー）で何とかその場をしのごました。ベトナムでティッシュペーパーは必携です！（川田）



イスラム教を信仰している人は金曜日にモスクで礼拝をしなければいけないため、金曜日の事務所にはあまり人がいないことに驚きました。また、事務所にもムスリムの方々が礼拝を行うための部屋であるsurauが設けられていました。（丸橋）



英語は得意だったのですが、最初のうちは、マレーシア独特の英語のなまりに慣れず、聞き馴染みのない単語や分野も多く聞き取るのが難しい場面もありました。しかし、途中からはなまりにも慣れ聞き取れる部分が多くなり、インターンを終了する頃には英語力の伸びを実感できました。（川口）



お水の扱いが日本と大きく異なり注意が必要でした。飲食店に行っても日本のように水が出てくるのではなく、ペットボトルの水を携帯していました。さらに、水道水には注意が必要で、少し飲んだだけでもお腹を壊してしまうそうです。シャワーの水が口に入らないように注意し、歯磨きも水道水は使わず、ペットボトルの水で代用しました。水のペットボトルは1本で50円程度と安価で手に入ります。（波江）

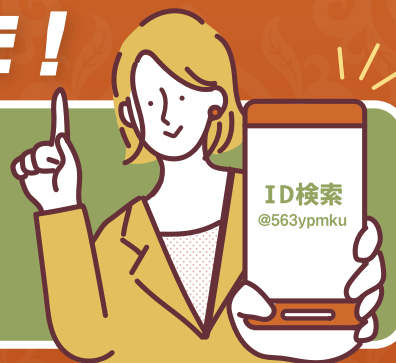


ベトナムコーヒー（練乳が入っており、濃厚で甘い味わいが特徴）や、Bánh đậu xanh（バインダウサイン、緑豆を使ったベトナムの伝統的な豆菓子）をお土産に購入しました。ベトナムコーヒーはとっても甘いけれど、簡単に作れて便利なのでベトナムのお土産におすすめです。（川田）



公式LINEアカウント始めました！

九工大の海外留学プログラムや学内の国際交流イベントの情報をいち早くお届け！友達追加お待ちしております！



編集後記

インターンシップ中の困難も笑顔で生き生きと語る姿が印象的でした。その前向きな姿勢は帰国後の行動にも表れており、本当に素晴らしいと感じました。（松浦）

インタビューで、皆さんがそれぞれの専門分野を生かしてインターンをしている姿を想像し、とてもカッコイイと思いました。この経験を生かして、将来は国内外で活躍する技術者にぜひなってほしいです。（吉良）

少しの勇気で将来の選択肢がいくつも増えるんだなあとしみじみと感じました。このリーフレットを手にとった学生さんが、少しでも「海外に行きたいいな…」と感じてくれたら嬉しいです。（本川）



国立大学法人

九州工業大学



発行日：2025年2月28日

発行：九州工業大学GCEジョブチャレンジチーム